

金子校区の人口

男 5,691 人
 女 6,068 人
 計 11,759 人
 世帯数 5,428 世帯
 (平成 27 年 3 月末日現在)

地域交流センターだより

(ふれあい金子)



(発行所)

庄内町一丁目 14 番 7 号

地域交流センター

電話 34-6320

FAX 34-3289

E-mail

kanekou@city.niihama.ehime.jp

平成二十七年 度

各種団体役員紹介

○金子校区連合自治会

- ・ 会長 永井 昭憲
- ・ 副会長 藤田 厚志
- ・ 副会長 須山 盾夫

○各自治会長

※氏名五十音順

- ・ 秋山 寿康 (北庄内自治会)
- ・ 尾崎 正明 (八雲団地自治会)
- ・ 加藤 武雄 (東庄内自治会)
- ・ 小西 福一 (田所自治会)
- ・ 近藤 洋子 (庄内東団地自治会)
- ・ 神野 直樹 (城下自治会)
- ・ 須山 盾夫 (一宮自治会)
- ・ 土肥 公一郎 (久保田自治会)
- ・ 永井 昭憲 (平形自治会)
- ・ 永井 憲一 (江口自治会)
- ・ 藤田 厚志 (庄内自治会)
- ・ 矢野 聿文 (八雲自治会)

○社会福祉協議会金子支部

- ・ 会長 山下 和之
- ・ 副会長 永井 昭憲
- ・ 副会長 神野 哲男
- ・ 副会長 越智 保二

○校区民生児童委員協議会

- ・ 会長 神野 哲男
- ・ 副会長 富林 健二

○主任児童委員

- ・ 渡部 昭子
- ・ 青木 文雄

○校区老人会

- ・ 会長 小野 清
- ・ 副会長 高橋 正明
- ・ 副会長 藤田 温子

○各老人会長

※氏名五十音順

- ・ 石川 正樹 (東庄内友愛会)
- ・ 小野 清 (庄内下庄寿会)
- ・ 加藤 富士見 (江口寿会)
- ・ 高橋 正明 (庄内上庄寿会)
- ・ 平田 ヤエ子 (八雲福寿会)
- ・ 藤田 温子 (庄内中庄寿会)
- ・ 藤田 一 (田所老人会)
- ・ 藤橋 貞夫 (久保田寿楽会)
- ・ 本藤 福好 (平形老人会)

○少年補導員協議会金子支部

- ・ 支部長 曾我部 卓也
- ・ 副支部長 吉村 信二

○交通安全協会南支部

- ・ 会長 安藤 克博
- ・ 副会長 神野 直樹
- ・ 副会長 村上 正義
- ・ 副会長 佐伯 幸四郎
- ・ 副会長 植田 和美

○校区体育振興会

- ・ 会長 真鍋 敏夫
- ・ 副会長 丹下 笑子
- ・ 副会長 藤田 明美
- ・ 副会長 大西 政年

○南中学校PTA

- ・ 会長 井上 信大
- ・ 副会長 藤田 一憲
- ・ 副会長 秦 照佳
- ・ 副会長 山本 章世
- ・ 副会長 高橋 恵

○金子小学校PTA

- ・ 会長 大西 政年
- ・ 副会長 安藤 茂昭
- ・ 副会長 眞鍋 直樹
- ・ 副会長 松田 雄二
- ・ 副会長 横山 慎吾
- ・ 副会長 横山 典彦
- ・ 副会長 山本 恵
- ・ 副会長 横山 友紀
- ・ 副会長 加藤 友紀
- ・ 副会長 狩野 香代子
- ・ 副会長 藤田 雅子
- ・ 副会長 矢野 千賀
- ・ 副会長 中野 美幸



今年度の各種団体役員が決まりました。

各種団体・地域の皆様のご協力を頂きながら地域を盛りあげ、楽しく元気に行事を成功させたいと思います。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

交流センター職員一同

田所の阿弥陀堂

ふるさと探訪シリーズ

田所は、荘園の御蔵跡であるといわれています。天正(一五七三〜一五九二)のころには、小野氏の田所館がありました。

天正の陣で、兵火に焼かれた田福寺とともに、宇高から新須賀に移され建立された阿弥陀堂が田所町にあります。

本尊は、阿弥陀如来で、旧六月一日の御願込から八月一日の御願解の回向が現在まで続いています。むかしは、敷地も広く、堂宇も、二間半(四・五メートル)に三間半(六・三メートル)という広さでした。目の病気が治るといって、たくさんの方々が参拝者がありました。

こんなお話が言い伝えられています。ある年のことです。大洪水がありました。ご本尊の阿弥陀如来さまが大洪水で流され、瀬戸内海を漂流して、対岸の広島島の浜辺に打ち上げられました。浜の漁師がこれを見つけ、拾って家に持ち帰り、ていねいにお祭りをしていました。

ところが、夜中になると、阿弥陀如来さまを祀っている部屋から、小さな声が聞こえてくるのでした。「帰りたい。元の所へ帰りたい。田所の阿弥陀堂に帰りたい。」

シクシクと、泣く声が聞こえてくるのです。

漁師は、このことを浜の人たちに話しました。うわさは浜から村まで広がりました。

村の人たちもすては置けないので、方々を探しているとき、田所の人も大洪水の後かたづけもそこそこ、阿弥陀如来さまを探していることを知りました。当所に祀っている阿弥陀如来さまであることがわかり、無事にお迎えして、現在の阿弥陀堂へ安置したということです。